

第34回地方出版文化功労賞受賞記念 講演資料

- 主催 ブックインとっとり2021実行委員会
- 日時 令和3年11月6日(土) 13:00~15:30
- 会場 サテライト会場「鳥取県立図書館」
オンライン(ZOOM)形式



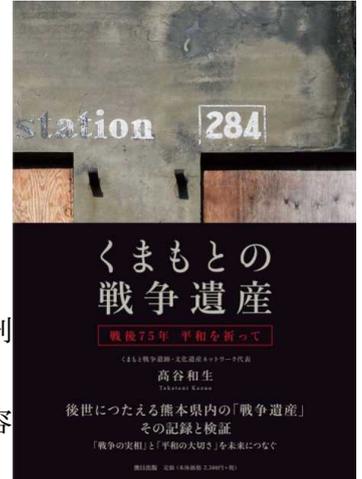
「戦争の遺産を地域で、記憶から記録へ」

くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク 代表 高谷和生

1 はじめに **心より皆様方にお礼を申し上げます。**

2 私と戦後75年 ~戦後世代としての「私の視点」~

- 近代化遺産、近現代考古学との出会、残された世界遺産「万田坑」
- 熊本産業遺産研究会『熊本の近代化遺産』弦書房
- 新たな視点での「熊本の歴史像構築」必要性。「光」と「影」



3 『くまもとの戦争遺産』刊行とその思い

(1) 多くの県民の方々に、手に取ってもらえるように

「平易さ」と「客観性」 平成28年熊本地震でのエピソード

(2) 戦争遺跡から、戦争遺産への広がり!

- 前書『熊本の戦争遺跡』熊本の戦争遺跡研究会で、2010年に刊行し、県下戦争遺跡を紹介。「第32回熊日出版文化賞」を受賞
- 本書は、2020年「第42回熊日出版文化賞」を受賞
- 熊本市内の軍施設・飛行場・軍需工場・奉安殿・慰霊碑の内容を刷新し、新たに航空資料・空襲概要や不発弾へと広げた。
- また、「ガイドマップ」や「県内戦争資料館等」の案内を添え、「くまもとの戦争遺産(戦争遺跡・遺構・遺物等)一覧」では、県内各地状況を一覽とした。
- 日々の調査・検証の記録を、戦争遺産として広げ、市民目線での「熊本モデル」に

(3) 熊本での捕虜収容所・墜落米軍機「加害歴史」を調べる!

- 県内二箇所(熊本・芦北郡田浦)の連合軍軍俘虜収容所を詳述
- 県内各地での、墜落米軍機と捕虜虐待事件

(4) 熊本での空襲状況「被害歴史」を、新たな資料で改めて調べる! ~マイノリティへの視点~

- 1945年8月10日米極東航空軍第5航空団による、熊本市街地への「第二回熊本大空襲」新資料写真16枚の発見。多くの市民が犠牲となった「戦災被害」
- 宇城市松橋町等をはじめ、県下中小都市への空襲状況を新たに調査、検証

4 まとめ ~地方で生きる~ **本受賞は「今後の活動の励み」**

(1) 地方で生きる ~熊本を核として、九州・山口地域への広がり~

- 地方の単位として「熊本」の良さを活かす!
- 「戦争遺産フォーラムくまもと」では、熊本県内の多くの仲間と一緒に!
- 8年目となる「空襲・戦災・戦争遺跡を考える九州・山口地区交流会」、九州内への広がり!

(2) 戦後76年目「戦争の記憶と記録」を、どう語り継ぐのか

- 東アジア視点で「加害」を、もう一度見つめなおす!
..加害の戦争遺跡・遺物・戦時資料を調査し、証言を聞き取る
- 家族・肉親等の身近な「被害」を伝えなおす!
..肉親の死や空襲被害、多様な戦争体験・戦時証言を聞き取る
- 戦後76年を経過し、「戦争資料(証言を含む)の山・混在」をどう把握し、整理・デジタル化して公開・活用するのか。
- 戦争遺跡等調査と並行し、啓発用リーフレット11種の発行・無償配布
- くまもと戦跡ネットHP「戦時資料室」約260点を、デジタルデータで紹介
- くまもと県内の戦争遺跡・戦時資料を対象とした「くまもと戦争遺産デジタルミュージアム」開設に向けて。紙資料とデジタル資料併用の「要」としての本書『くまもとの戦争遺産』の受賞

(3) 「戦争遺跡・遺産の調査、保存・継承、活用」と「理解啓発の活動」

- 戦争遺跡・遺産は、貴重な歴史資料であり「国民共有の財産“文化財”」、「公共財」!
- 地域諸学校への「出前平和講座」の広がり
- 「くまもと戦争遺産をめぐる旅」等での保護啓発活動の見学ツアー開催。啓発リーフレット11種発行
- 「SDGs」の16番目の項目「平和と公正を全ての人に」
戦争という大きな暴力を無くし、世界の平和に向けて、持続可能な社会実現に向けて